

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 13 日 (2015.8.13)

【公表番号】特表 2010-513942 (P2010-513942A)

【公表日】平成 22 年 4 月 30 日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2010-017

【出願番号】特願 2009-540776 (P2009-540776)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/26 (2006.01)

B 3 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/26

B 3 2 B 7/02 1 0 3

G 0 2 B 5/20

G 0 2 B 5/22

B 3 2 B 15/08 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 24 日 (2015.6.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

太陽に対して配置された太陽光制御フィルムにおいて、
アルミニウム、銀、金、銅、クロム、およびそれらの合金からなる群から選択された少なくとも一種の金属を含む少なくとも 1 つの赤外線反射層と、
6 ホウ化ランタンナノ粒子、酸化セシウムタングステンナノ粒子からなる群から選択された少なくとも一種のナノ粒子を含み、前記赤外線反射層よりも太陽から遠くに配置された少なくとも 1 つの赤外線吸収層と、を備え、
可視光透過率 (VLT) が 64 ~ 69、総太陽エネルギー遮断率 (TSER) が 43 ~ 53、および太陽熱利得係数 (SHGC) が 0.47 ~ 0.57 であること、を特徴とする太陽光制御フィルム。

【請求項 2】

前記赤外線反射層は、5 nm から 25 nm の範囲内の厚みを有していることを特徴とする請求項 1 に記載の太陽光制御フィルム。

【請求項 3】

前記赤外線反射層は、スパッタリングまたは蒸着によって堆積されていることを特徴とする請求項 1 あるいは 2 に記載の太陽光制御フィルム。

【請求項 4】

前記赤外線反射層は、高屈折率を有する層間に挟み込まれていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の太陽光制御フィルム。

【請求項 5】

前記ナノ粒子は、1 nm から 500 nm の範囲内の直径を有していることを特徴とする

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の太陽光制御フィルム。

【請求項 6】

前記ナノ粒子の濃度は、 0.01 g/m^2 から 5 g/m^2 の範囲内にあることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の太陽光制御フィルム。

【請求項 7】

前記赤外線反射層および/または前記赤外線吸収層は、可撓性基板または剛性基板に堆積されていることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の太陽光制御フィルム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

フィルム 3 は、赤外線反射層としての銀層および酸化セシウムタングステンのナノ粒子を含む赤外線吸収層を備える本発明に係る太陽光制御フィルムから構成されている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0109

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0109】

フィルム 4 は、赤外線反射層としての銀層および酸化セシウムタングステンのナノ粒子を含む赤外線吸収層を備える本発明に係る太陽光制御フィルムから構成されている。